



しらかば通信

東京真田町の会 No. 30



2023 (令和 5) 年度 第 36 回総会・懇親会のご案内

野花のかおり若葉みどりに我をかさね、気がつけば足どりの軽さに気づく時節になりました。みなさまには清々しい日々をお過ごしのことと察します。

本会の運営については、つね日ごろ厚いお力添えをいただき心より御礼を申し上げます。三年ぶりに開催された昨年 10 月 30 日の第三十五回 (出席者 33 名、内会員 17 名) から、早くも半年が経ちました。

ここに**第三十六回総会・懇親会**の開催案内をお届けします。

政府は、5 月 8 日より感染症法での分類において、新型コロナウイルスを季節性インフルとおなじ扱いの第五類に下げる、と決めました。人波の高揚次第では、車中や人混みにたいしては、これまで以上の注意が必要となりますが、皆様、健康に注意され、総会・懇親会に、相誘い、声をかけあって、是非共ご出席賜りますよう、役員一同、心からお待ちしております。

1. 第 36 回総会・懇親会のご案内

記

期 日 2023 年 5 月 21 日 (日)

会 場 アルカディア市ヶ谷私学会館、6 階「霧島」
千代田区九段北 4-2-25、TEL03-3261-9921(代)

受 付 11:00 より

総 会 11:30~12:10

— 記念撮影・休憩 —

懇親会 12:30~15:00

懇親会費 7,000 円 (会員でない方は 3,000 円)

年 会 費 1,500 円 (平成 28 年度より)

出欠の返信方法 同封の返信葉書で 4 月 21 日 (金) までにお送り下さい。締切り後に出席を希望される方は、返信葉書または電話でご連絡下さい。

懇親会のアトラクション

「ふしぎひととき」の披露を世田谷マジッククラブから、またア・カップペラに造詣ある理事から日頃の活躍披露もあります。

多くの皆様のご出席をお待ちしております。

— そのほかのご案内 —

- 1) 返信葉書に記入された近況は日本ダボス No.36 へ掲載されます。

- 2) いろいろな問合せには下記へご連絡ください。

副会長・事務局 深町共榮

TEL 090-7225-6491

副会長 柴田小夜子 TEL 03-3467-4035

- 3) 次の各駅から会場までは徒歩約 2 分です。

- a) 地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 (出口は 1、A1)
- b) 地下鉄新宿線 市ヶ谷駅 (出口は A1、A4)
- c) JR 中央総武線 (各駅停車) 市ヶ谷駅



(注) 写真で見る日本 (日本文化出版社昭和 36 年 10 月) より。左: 上田城 (昭 36 年)、右: 菅平の索道 (同)

2. 会則、細則の改正について

現在、上田市の自治センターにおいては、旧真田町住民の方は、真田地域自治センターに属していることを考慮し、次のように 会則の改定の案を提案します。正式には、きたる第 36 回総会の席上にてこの改定を議題として提出し、ご審議していただくことといたします。

現行の第 4 条は、

第 4 条 本会の会員は、原則として、東京都、神奈川県、千葉県および埼玉県に在住する真田町出身者とその親族及び真田町関係者で、本会の趣旨に賛同する者をもって組織する、となっております。

改正案では、

第 4 条 本会の会員は、上田市真田地域（略：真田地域）の出身者及びその関係者ならびに真田地域に興味をもち応援するする人をもつて組織する。

このほか、現行の「細則の 2. 入会及び会費」に関する記述では、
本会に入会しようとするものは郵便振替にて年会費千円を振込み申し込むものとする。
となっています。

改正案では、これに会員資格を付加します。

すなわち、「細則の 2. 入会、会費及び会員資格」として、

本会に入会しようとするものは年会費 1,500 円を添えて申し込むものとする。本人の死亡および退会の申し出のあったとき、また理由なく 3 年以上続けて年会費を未納の者は会員の資格を失う。

以上の改定案について、会員の皆様の賛否を「同封の返信葉書」にてお聞きし、総会における審議に反映させていただきます。また、ご意見がある方は、事務局までお知らせ願います。

事務局 深町共榮 (Tel. 090-7225-6491、Fax 0268-75-3886、メール tomoe-f@wonder.ocn.ne.jp)

3 ふるさと便り
(1) ふるさと小中学校新入生数
2022 年度（入学おめでとう）ございます。
菅平中学および真田中学の新入生数の合計は 86 名（昨年 74 名）、小学校の四校では 99 名（同 76 名）でした。

表1 令和4年度(2022)真田地域小学校及び中学校入学人数

学 校 名	男子/人	女子/人	計/人	令3年度/人
菅平中学校	5	3	8	(6)
真田中学校	44	34	78	(68)
中学校生徒数計	49	37	86	(74)
菅平小学校	6	6	12	(9)
長 小 学 校	6	10	16	(24)
傍陽小学校	10	10	20	(12)
本原小学校	25	26	51	(31)
小学校生徒数計	47	52	99	(76)

真田地域自治センター調べ、入学式2022(令4)年4月祝慶

(2) 湯ノ平橋工区完了(2022年12月16日)
第 35 回総会で土屋市長が紹介された国道 144 号線真田町長の該橋が完成し近傍も拡充整備されました。開通式には市長、佐藤論征市議会議長および古市議員が来賓として出席し、観光や住民の生活安全への期待を込めて祝辞を述べました。工区長は 0.43 km、工費は 6.5 億円。側歩道は横沢から湯ノ平まで通じま

したが、上大日向まで達するには今後 2.5 km ほどの整備が必要であり、根気よく国への働きかけが必要です。これが成って初めて大日向の小中学生が自転車通学できることになります。
ふるさとへの路で筆者は上田駅から横沢までよく歩いていました。さらに、菅平まで歩道が延びれば四季を走る上田菅平アスリートにとって大いなる楽しみになります。



湯ノ平橋（歩道は菅平方面への右片側のみに設置で幅 5m）

(3) ふるさとに盡した有線 61 年
ふるさとの朝、夕に有線放送がありました。これが始まるや、その放送音声にいつもヒヤヒヤしたものでした。これは 1962 年 3 月に真田町農事放送農業協同組合によって開始され、「有線放送電話業務」（戸数 2697、加入率 95%）でありました。その後 1968（昭 43）年に真田町に移管されて今日に至りました。最近の急速な情

朝日新聞 2023年03月08日

論座の 一推し 大軽井沢経済圏の挑戦



町は、集う人々と土地と時間の化学反応で育っていく——。東京成徳大学准教授の芳野まいさん＝写真＝の連載「軽井沢の視点～大軽井沢経済圏という挑戦」は、そんなことを改めて気づかせてくれます。

軽井沢は、コロナ禍で移住者が増えた町のひとつです。その流れは近隣の御代田、小諸などの町まで広がり、「軽井沢をゲートウェイとした一大経済圏が生まれつつある」と言います。

連載は、初回「軽井沢型テレワークがどこにも真似できない深い理由～自主財源107億円の町に年間500人移住」（2022年2月18日）から、最新回「社会減100人超から社会増100超に～『おしゃれ田舎プロジェクト』で小諸が逆襲」（23年2月27日）まで、これまでに6回。地元自治体の職員、住民や移り住んだ医師、漫画家らと対話しながら、

真似できない？ いえ、我が町考える刺激に

「大軽井沢経済圏」が持つ「場」の力を、多角的に掘り起こしていきます。

最新回は、新幹線の案通りで元気をなくしていたかつての商都小諸で、にぎわいを取り戻そうと動く人々にインタビュー。皆さんの町を語る熱量の大きさが印象的です。少子高齢化など背景にある構図は、日本中どこにでもある話。だからこそ、読んでいるうちに自分が暮らす町、縁がある町を思い出し、ひとこと言いたくなります。

「都会の人は、移住先の地方に都合よく期待して、勝手に失望することがある」。例えば私は、故郷の農村を離れて30年余りが過ぎたのに、移住を受け入れる側のそんな視点で考えていることに気づき、驚きました。

「どこにも真似できない」話のはずが、自分にとって大事な町のあり方を考える刺激となる連載です。（編集委員・「論座」副編集長、吉岡桂子）

本会のホームページでは、閲覧者

- 一、改正案で入会条件を緩める。
- 二、入会希望者が「本会に期待していることは何か」を知る。
- 三、既会員は入会希望者との仲間意識を醸成する。

では、自然豊かな観光地であるがゆえに、それに頼り過ぎていたことに気づかず、定住者への行政支援が疎んじられてきたことに警鐘を鳴らしています。

(注) 朝日新聞 2023年3月21日(火)

く会の環境づくり」を心がけ議論してまいりました。主なものを以下に示します(改正案の第四条で、以下では入会される方を「入会希望者」と表記します)。

観光客増の三浦、進まぬ定住(注)

創立当初より本会は、関東圏における真田町出身者の心のよりどころでありました。あれから三十余年を経たいま、多くの会員方は傘寿を後にしています。さらに入会者数は少なく、退会者数を補ってはいません。理事会は数年前から「見通しのきく会の環境づくり」を心がけ議論してまいりました。主なものを以下に示します(改正案の第四条で、以下では入会される方を「入会希望者」と表記します)。

自治体が夏季の短期滞在村などを開設して、都会の若者を呼ぶ「むらおこし移住オリ」のような創造的地域文教活動が胎動することを期待しています。

報および通信技術の発達に伴い、この放送の役割は携帯電話などに替られ、加入戸数は減少の一途を辿りました(令3年3月、所帯数4032、加入率43.5%)。これを背景に2023(令5)年3月に有線放送業務を終了することになりました。詳細はへ広報さなだ、2023年3月号no. 91を、およびへ真田地区有線放送電話(S・Y・D)の歩みをご覧ください。

4 行事
4.1 ふるさと訪問の旅
直近で実施したのは2019年10月27、28日で、台風19号(10月12日)の惨禍直後でした。新型コロナウイルスの治療薬が豊富になってきたこと、さらに皆様から「はじめましよう」の催促も聞かれますので、今秋10月の実施を目指して計画します。訪問先の候補などについてご希望があり

ましたら事務局へ、あるいは返信葉書などでお寄せください。
4.2 四季めぐり
2019年夏は神代植物公園を散策しました。企画例として、旧豊島園跡にできた「ワンナーブラザース」周辺や練馬アンテナショップなど、脚を延ばして昭和記念公園(JR立川駅)内で歩き疲れましょう。みなさまからのご提案を待っております。

や会員に向ける辞以上に、真田地域に関心を持つ方々に向けたそれが肝心です。閲覧者の中にはこの地を移住先候補と捉えている方もいるでしょう、そうであって欲しいと思います。一步踏み込んで診られたとき、自治体の文教政策(子育て・教育)はもちろん、現在の居住者に行政はどんな接し方をしているか(医療環境、移動支援は厳しく判断されます。学生村ブームのあった50年ほど前、下大日向でも受験生や大学生の20名ほどが夏季一カ月ぐらいを過し、村人との交流に町内は沸いていました。ここで避暑した大学教員の方いうに(一之瀬学生)の頃、「あなたの村はふしぎなところだ、道端リングはいつまでたってもそのまま、すれちがうおばさまはニッコ」とかえしてくるし・・・と。

祝 令和 5 年 上田市二十歳を祝う式

みなさんおめでとーございます。
真田会場、出席者61名
2022 年度成人式祝賀模様



代表誓いのことば

プロスポーツ選手で活躍中の阪神タイガース高寺望夢さん(左)と松本山雅FC稲福卓さん(右)も参加しました。



祝賀実行委員会のみなさん (9 名)



真田中 2 組



上：菅平中
右：真田中 1 組



真田中 3 組

6 ふるさとの催し

- (1) 上田城千本桜まつり、4 月 1 日(土)～9 日(日)
- (2) 信州上田大花火大会、8 月 5 日(土)
- (3) 真田地域一周駅伝大会、10 月 15 日(日)

3 月現在、未確定の行事もあります。市のホームページをご覧のうえ観光課 TEL 0268-23-5408 へお問合せ下さい。

しらかば通信 No.30 [2023 (令和 5) 年 3 月 31 日発行]

発行 東京真田町の会 副会長・事務局 深町 共榮 〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 825-7、

Tel & Fax 0268-75-3886、携 090-7225-6491

副会長・事務局 深町 共榮、編集部 一之瀬 和夫